

# 取扱説明書

## 安全の為に必ずお読み下さい。







この度は、当社の商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの説明書をお読み頂き、正しくご使用下さい。また大切に保管し必要な時にお読み下さい。




**注意** 故障、破損、けが、物的損害につながる可能性があります。

- 連結ボルトやジョイント金具がゆるんだ状態で使用しないでください。
- 商品を移動する際は、必ず二人以上で持ち上げて移動してください。
- 床に傾きや段差のある不安定な場所でのご使用はおやめください。
- 商品の分解や改造はしないでください。
- 商品の耐荷重(引出し20kg)を超えてのご使用はお控えください。

### お願い

- 時々ボルトのゆるみによるガタツキがないか点検し、ゆるみのある場合は閉め直してください。
- 直射日光やストーブなど熱の影響を受ける場所、湿気・乾燥の著しい場所でのご使用はお控えください。
- 商品の表面にセロテープやシールなど粘着性のあるものを貼付けないでください。表面材が剥がれます。
- 商品の上に高温のものをのせないでください。変色し跡が残ります。
- 商品の上でボールペンなど先の硬いものを直接使用しないでください。表面を傷付けたり、跡が残るおそれがあります。
- お手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れのひどい場合は中性洗剤を水で薄めたものを使い布をよくしぼってから拭き取ってください。最後に乾拭きしてください。

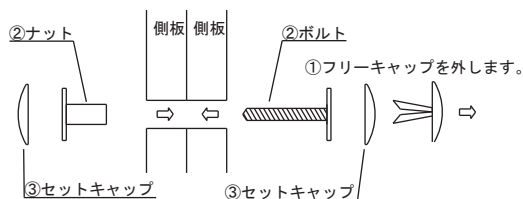
引手ネジ	引手	棚受けダボ	M6ボルト	M6ナット	ボルトキャップ
					
120/140/160KB 4本	120/140/160KB 2本	120/140/160KB 16個	120/140/160KB 1本	120/140/160KB 1個	120/140/160KB 2個

フィックス	連結ボルト	フィックスカバー			
					
120/140KB 8個 160KB 9個 ※上台補強ボードに 取り付け済みを使用	120/140KB 8本 160KB 9本 ※上台補強ボードに 取り付け済みを使用	120/140KB 8個 160KB 9個			

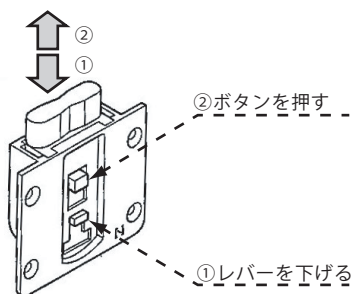
## 左右ジョイントの方法

- ① ジョイント位置を確認しボルト&ナットで連結します。
- ② ボルトにセットキャップを被せます。

- \* 入りにくい場合は、ボックスを少しずらしながら位置を確認してください。
- \* 一箇所ずつ固定しながら組み立てると、後で組むボルトが入りにくくなることがありますので、必ず、全部のボルトが入るのを確認してから最後にドライバーで閉め付けます。

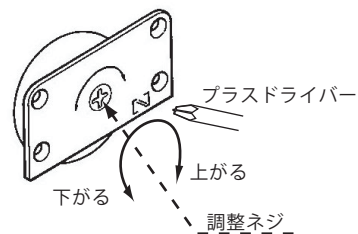


(左右ジョイント)



## 引き戸の外し方

- ①レバーを下げれば、上ガイドが下がります。
- ②上のボタンを押せば、自動的に上ガイドが上がります。



## 戸車調整の仕方

- 調整ネジをプラスドライバーで廻す事により戸車の上下調整が出来ます。

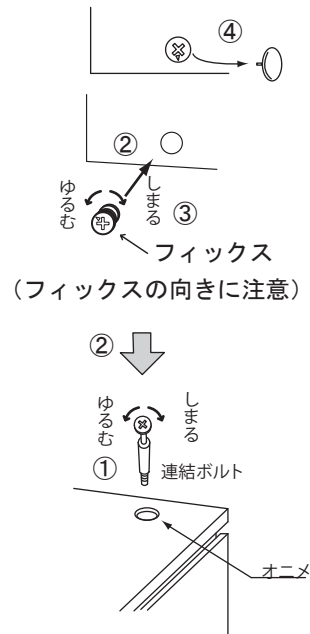
<金具図は商品とは多少形状が異なります>

# 取扱説明書

## 安全の為に必ずお読み下さい。

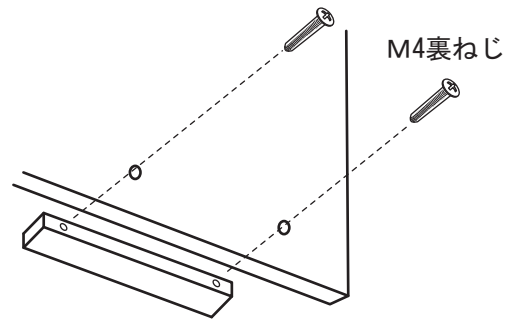
この度は、当社の商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの説明書をお読み頂き、正しくご使用下さい。また大切に保管し必要な時にお読み下さい。

### 上台の設置方法



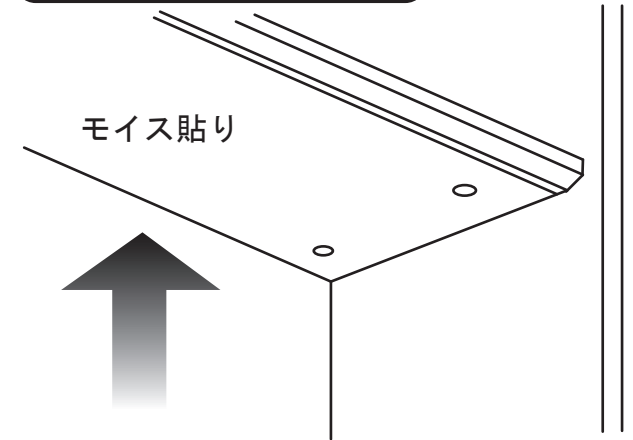
- ①カウンター部に連結ボルトをねじ込みます。
- ②側板にフィックス差し込み、上台を重ねます。
- ③フィックスを約90度右に廻し固定します。
- ④フィックスにカバーをつけます。

### 引き手取り付け



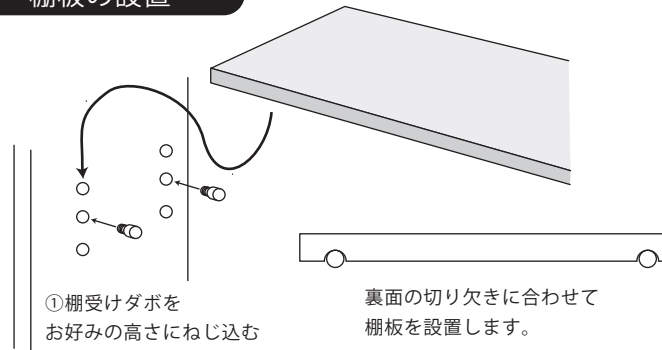
引き手は、裏面よりM4ビスで締めてください。

### オープン上面モイス貼り



オープン部上部及び、には家電品から出る湿気を吸収し、自然に放出する調湿素材<MOISS/モイス>を使用しています。家電品から出る蒸気を吸湿、放出するだけでなく、耐火、消臭、抗カビ性もあります。又、モイスは、ボルト留めになっていますので取り外しも可能です。

### 棚板の設置



①棚受けダボをお好みの高さからねじ込む

裏面の切り欠きに合わせて棚板を設置します。

# 取扱説明書

## 安全の為に必ずお読み下さい。






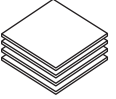
この度は、当社の商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの説明書をお読み頂き、正しくご使用下さい。また大切に保管し必要な時にお読み下さい。

**注意** 故障、破損、けが、物的損害につながる可能性があります。

- 連結ボルトやジョイント金具がゆるんだ状態で使用しないでください。
- 商品を移動する際は、必ず二人以上で持ち上げて移動してください。
- 床に傾きや段差のある不安定な場所でのご使用はおやめください。
- 商品の分解や改造はしないでください。
- 商品の耐荷重(引出し20kg)を超えてのご使用はお控えください。

### お願い

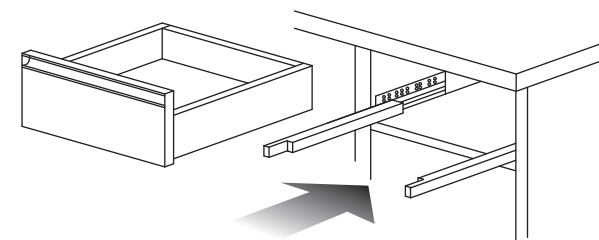
- 時々ボルトのゆるみによるガタツキがないか点検し、ゆるみのある場合は閉め直してください。
- 直射日光やストーブなど熱の影響を受ける場所、湿気・乾燥の著しい場所でのご使用はお控えください。
- 商品の表面にセロテープやシールなど粘着性のあるものを貼付けしないでください。表面材が剥がれます。
- 商品の上に高温のものをのせないでください。変色し跡が残ります。
- 商品の上でボールペンなど先の硬いものを直接使用しないでください。表面を傷付けたり、跡が残るおそれがあります。
- お手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れのひどい場合は中性洗剤を水で薄めたものを使い布をよくしぼってから拭き取ってください。最後に乾拭きしてください。

フリーキャップ	棚受けダボ	M6ボルト	M6ナット	ボルトキャップ	レベル調整板
					
120/140KB 8個 160KB 9個	120KB 4個 140/160KB 16個	120/140/160KB 2本	120/140/160KB 2個	120/140/160KB 4個	4枚

## 引き出しの抜き方 (クアドロレールの場合)

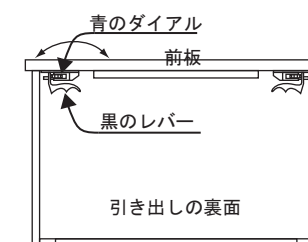
- \* クアドロレール付き引き出しの取り外し  
引き出しを一番手前まで引き出します。  
裏面両サイドの黒のレバーを握り引き出しを  
まっすぐ手前に引き出します。

- \* クアドロレール付き引き出しの取り付け



レールを手前に引き、引き出しを乗せてカチッという音がするまで引き出しを奥に押し込みます。レールを手前に引き出します。

- \* 引き出しの微調整

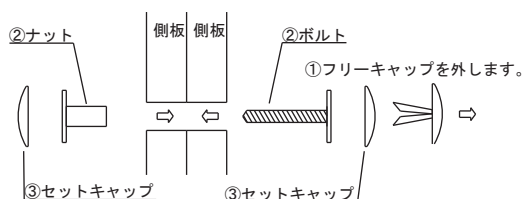


青のダイヤルを回せば引き出し高さの微調整が出来ます。

## 左右ジョイントの方法

- ① ジョイント位置を確認しボルト&ナットで連結します。
- ② ボルトにセットキャップを被せます。

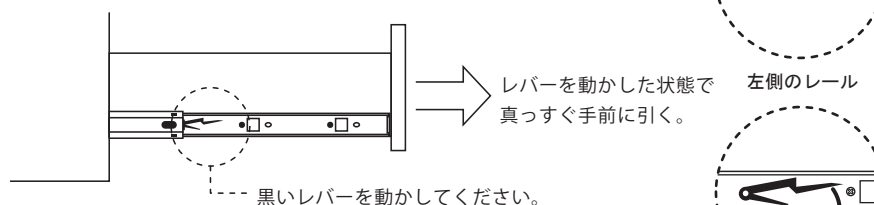
- \* 入りにくい場合は、ボックスを少しずらしながら位置を確認してください。
- \* 一箇所ずつ固定しながら組み立てると、後で組むボルトが入りにくくなることがありますので、必ず、全部のボルトが入るのを確認してから最後にドライバーで閉め付けます。



(左右ジョイント)

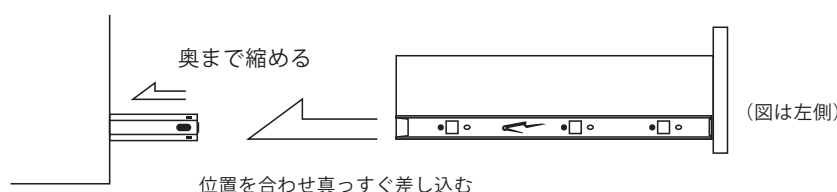
## 引き出し/スライドカウンターを取り外し方

引き出せる位置まで出した状態で、黒いレバーを動かします。  
【左レールは上に】 【右レールは下に】押し上げてください。



## 引き出し/スライドカウンター取り付け方

本体側のレールを奥まで縮めた状態で、引き出し側のレールを本体側のレールに合わせ真っすぐ差し込みます。



位置を合わせ真っすぐ差し込む

# 取扱説明書

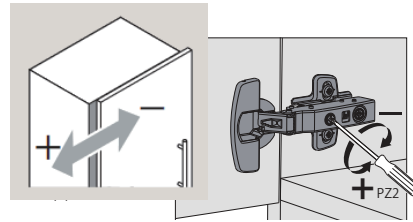
## 安全の為に必ずお読み下さい。

この度は、当社の商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの説明書をお読み頂き、正しくご使用下さい。また大切に保管し必要な時にお読み下さい。

### 扉の調整方法

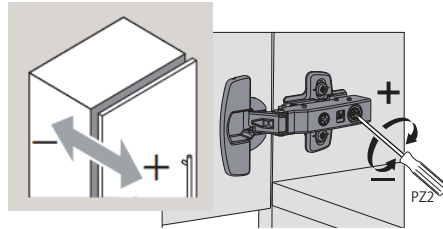
#### カブセ代調整

扉を閉じた状態で正面から見た際の、扉の左右の調整です。



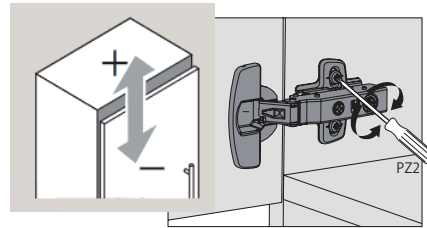
#### 前後調整

扉を閉じた状態で正面から見た際の、扉の前後の調整です。



#### 高さ調整

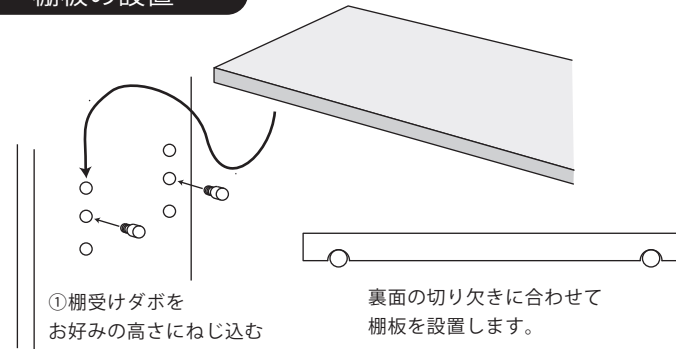
全ての座金の取付けビスを緩め、扉を上下に調整した後に緩めたビスを再度締め込みます。



### 棚板の設置

①棚受けダボを  
お好みの高さにねじ込む

裏面の切り欠きに合わせて  
棚板を設置します。



# 取扱説明書

## 安全の為に必ずお読み下さい。

この度は、当社の商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの説明書をお読み頂き、正しくご使用下さい。また大切に保管し必要な時にお読み下さい。

**注意** 故障、破損、けが、物的損害につながる場合があります。

- 連結ボルトやジョイント金具がゆるんだ状態で使用しないでください。
- 商品を移動する際は、必ず二人以上で持ち上げて移動してください。
- 床に傾きや段差のある不安定な場所での使用はおやめください。
- 商品の分解や改造はしないでください。
- 商品の耐荷重(引出し20kg)を超えてのご使用はお控えください。

### お願い

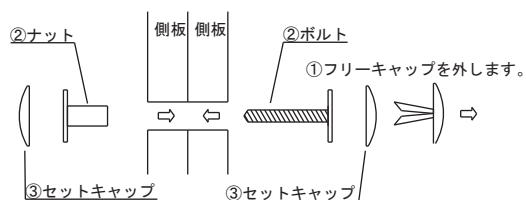
- 時々ボルトのゆるみによるガタツキがないか点検し、ゆるみのある場合は閉め直してください。
- 直射日光やストーブなど熱の影響を受ける場所、湿気・乾燥の著しい場所での使用はお控えください。
- 商品の表面にセロテープやシールなど粘着性のあるものを貼付けしないでください。表面材が剥がれます。
- 商品の上に高温のものをのせないでください。変色し跡が残ります。
- 商品の上でボールペンなど先の硬いものを直接使用しないでください。表面を傷付けたり、跡が残るおそれがあります。
- お手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れのひどい場合は中性洗剤を水で薄めたものを使い布をよくしぼってから拭き取ってください。最後に乾拭きしてください。

## 左右ジョイントの方法







- ① ジョイント位置を確認しボルト&ナットで連結します。
- ② ボルトにセットキャップを被せます。

\* 入りにくい場合は、ボックスを少しずらしながら位置を確認してください。

\* 一箇所ずつ固定しながら組み立てると、後で組むボルトが入りにくくなることがありますので、必ず、全部のボルトが入るのを確認してから最後にドライバーで閉め付けます。

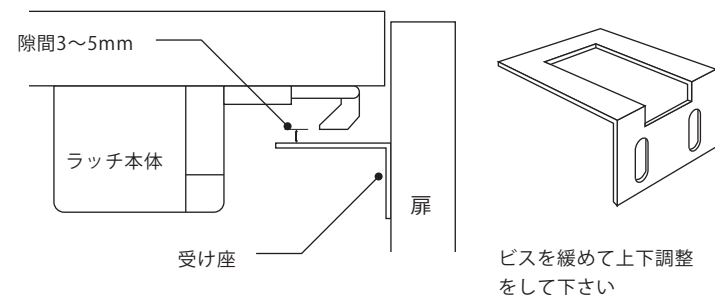


(左右ジョイント)

引手ネジ	引手	棚受けダボ	M6ボルト	M6ナット	ボルトキャップ
					
60DB 4本	60DB 2本	60DB 16個	60DB 5本	60DB 1個	60DB 6個

## 地震耐震ラッチ調整方法

最後に地震対策ラッチの調整をしてください。  
扉を開けラッチ本体の保護シールを剥がして下さい。  
次に扉を閉めラッチ作動状態を確認します。  
この時ラッチと扉に付いている受け座との隙間が3~5mmが正常です。  
※本体と扉の水平調整後はラッチと受け座の位置がずれている可能性があります。その場合、受け座のビスを緩め隙間調整を行うか、受け座のL型部分を直接曲げて調整してください。



地震対策ラッチは条件によってロックが作動しないことがあります。  
地震対策は付属の耐震ベルトなどを併用し、二重三重の対策をお願いします。  
また、地震発生時にロックされたままの扉は、家具本体を水平に戻し扉を押すと解除されます。その際、中の物が落ちてくる場合がありますので十分にご注意ください。

# 取扱説明書

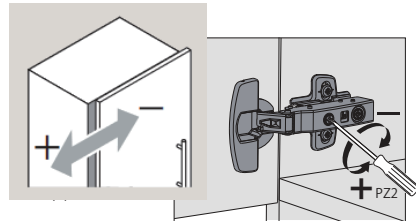
## 安全の為に必ずお読み下さい。

この度は、当社の商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの説明書をお読み頂き、正しくご使用下さい。また大切に保管し必要な時にお読み下さい。

### 扉の調整方法

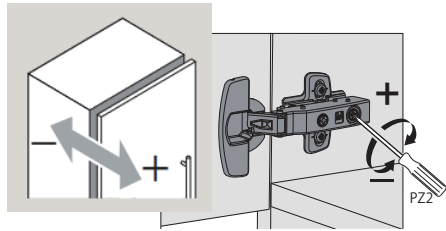
#### カブセ代調整

扉を閉じた状態で正面から見た際の、扉の左右の調整です。



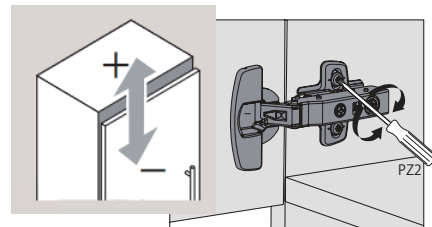
#### 前後調整

扉を閉じた状態で正面から見た際の、扉の前後の調整です。

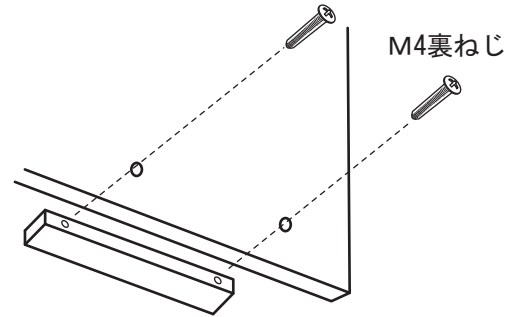


#### 高さ調整

全ての座金の取付けビスを緩め、扉を上下に調整した後に緩めたビスを再度締め込みます。

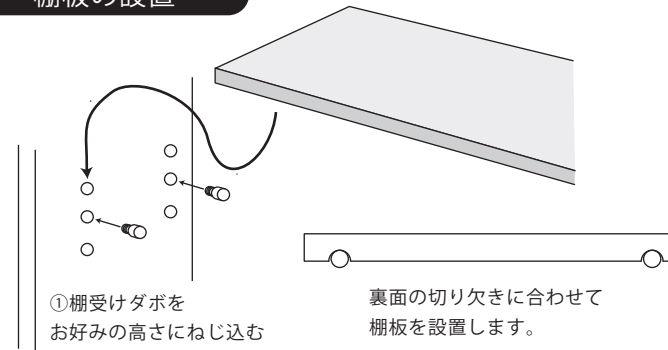


### 引き手取り付け



引き手は、裏面より  
M4ビスで締めてください。

### 棚板の設置



①棚受けダボを  
お好みの高さからねじ込む

裏面の切り欠きに合わせて  
棚板を設置します。

# 取扱説明書

## 安全の為に必ずお読み下さい。






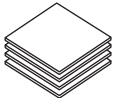
この度は、当社の商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの説明書をお読み頂き、正しくご使用下さい。また大切に保管し必要な時にお読み下さい。

**注意** 故障、破損、けが、物的損害につながる場合があります。

- 連結ボルトやジョイント金具がゆるんだ状態で使用しないでください。
- 商品を移動する際は、必ず二人以上で持ち上げて移動してください。
- 床に傾きや段差のある不安定な場所でのご使用はおやめください。
- 商品の分解や改造はしないでください。
- 商品の耐荷重(引出し20kg)を超えてのご使用はお控えください。

### お願い

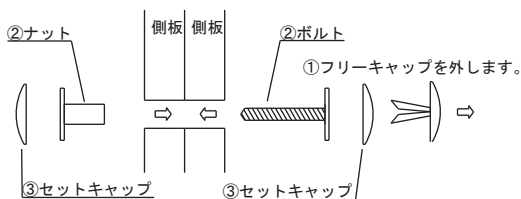
- 時々ボルトのゆるみによるガタツキがないか点検し、ゆるみのある場合は閉め直してください。
- 直射日光やストーブなど熱の影響を受ける場所、湿気・乾燥の著しい場所でのご使用はお控えください。
- 商品の表面にセロテープやシールなど粘着性のあるものを貼付けしないでください。表面材が剥がれます。
- 商品の上に高温のものをのせないでください。変色し跡が残ります。
- 商品の上でボールペンなど先の硬いものを直接使用しないでください。表面を傷付けたり、跡が残るおそれがあります。
- お手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れのひどい場合は中性洗剤を水で薄めたものを使い布をよくしぼってから拭き取ってください。最後に乾拭きしてください。

棚受けダボ	M6ボルト	M6ナット	ボルトキャップ	フリーキャップ	レベル調整板
					
60DB 4個	60DB 2本	60DB 2個	60DB 4個	60DB 4個	4枚

## 左右ジョイントの方法

- ① ジョイント位置を確認しボルト&ナットで連結します。
- ② ボルトにセットキャップを被せます。

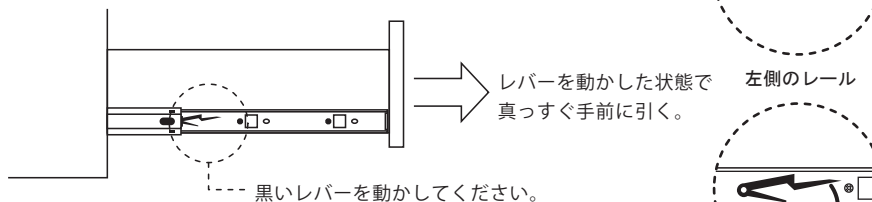
- \* 入りにくい場合は、ボックスを少しずつしながら位置を確認してください。
- \* 一箇所ずつ固定しながら組み立てると、後で組むボルトが入りにくくなる場合がありますので、必ず、全部のボルトが入るのを確認してから最後にドライバーで閉め付けます。



(左右ジョイント)

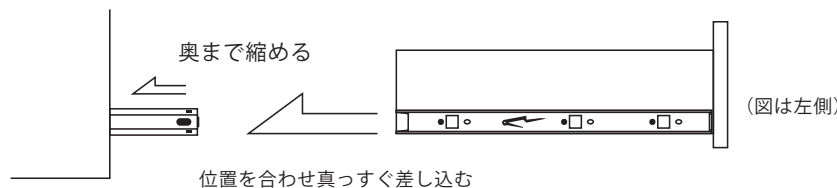
## 引き出し/スライドカウンターの取り外し方

引き出せる位置まで出した状態で、黒いレバーを動かします。  
【左レールは上に】 【右レールは下に】押し上げてください。



## 引き出し/スライドカウンターの取り付け方

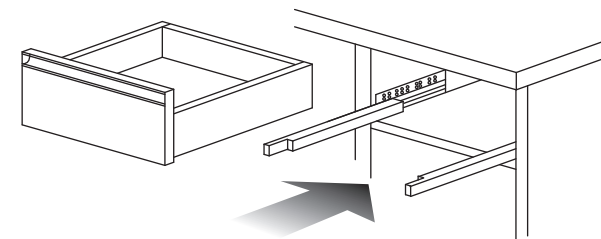
本体側のレールを奥まで縮めた状態で、引き出し側のレールを本体側のレールに合わせ真つすぐ差し込みます。



## 引き出しの抜き方 (クアドロレールの場合)

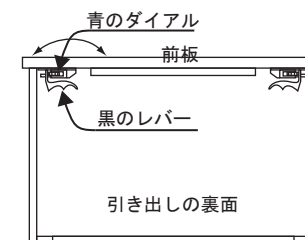
- \* クアドロレール付き引き出しの取り外し  
引き出しを一番手前まで引き出します。裏面両サイドの黒のレバーを握り引き出しをまっすぐ手前に引きます。

- \* クアドロレール付き引き出しの取り付け



レールを手前に引き、引き出しを乗せてカチッという音がするまで引き出しを奥に押し込みます。レールを手前に引きます。

- \* 引き出しの微調整



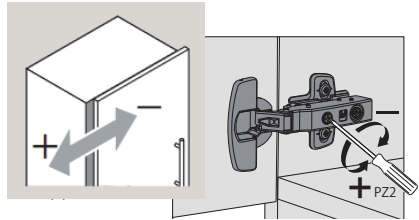
青のダイヤルを回せば引き出し高さの微調整が出来ます。

# 取扱説明書

## 安全の為に必ずお読み下さい。

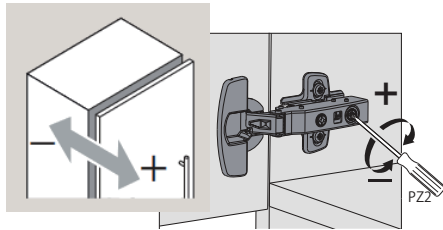
この度は、当社の商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの説明書をお読み頂き、正しくご使用下さい。また大切に保管し必要な時にお読み下さい。

### 扉の調整方法



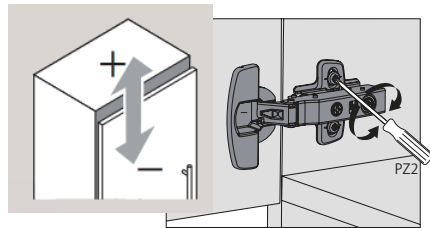
#### カブセ代調整

扉を閉じた状態で正面から見た際の、扉の左右の調整です。



#### 前後調整

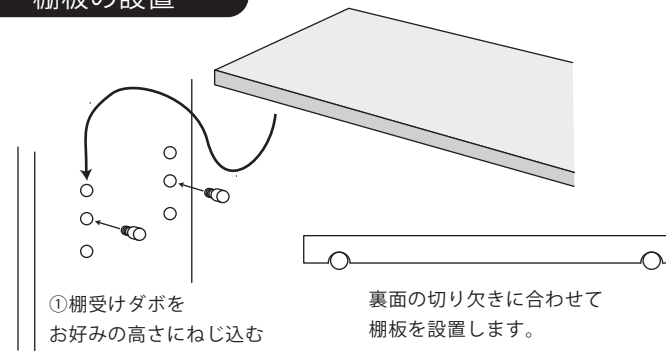
扉を閉じた状態で正面から見た際の、扉の前後の調整です。



#### 高さ調整

全ての座金の取付けビスを緩め、扉を上下に調整した後に緩めたビスを再度締め込みます。

### 棚板の設置



①棚受けダボを  
お好みの高さにねじ込む

裏面の切り欠きに合わせて  
棚板を設置します。



# 取扱説明書

## 安全の為に必ずお読み下さい。

この度は、当社の商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの説明書をお読み頂き、正しくご使用下さい。また大切に保管し必要な時にお読み下さい。

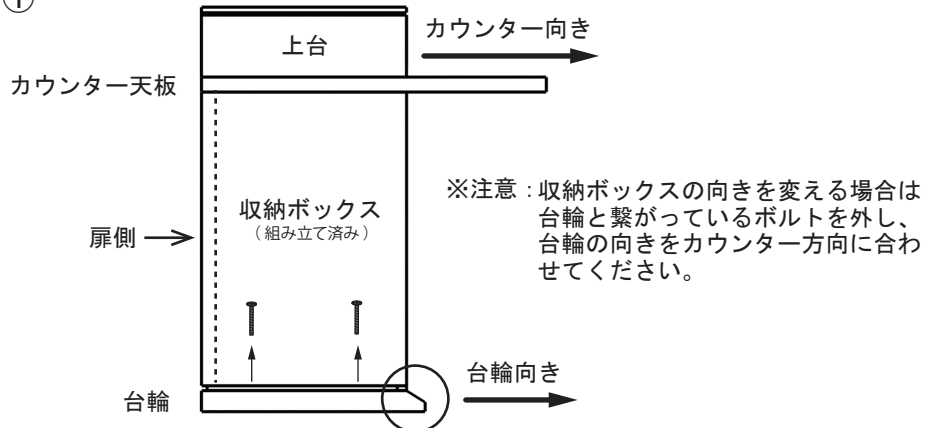
**!** **注意** 故障、破損、けが、物的損害につながる可能性があります。

- 連結ボルトやジョイント金具がゆるんだ状態で使用しないでください。
- 商品を移動する際は、必ず二人以上で持ち上げて移動してください。
- 床に傾きや段差のある不安定な場所での使用はおやめください。
- 商品の分解や改造はしないでください。
- 商品の耐荷重(引出し20kg)を超えてのご使用はお控えください。

### お願い

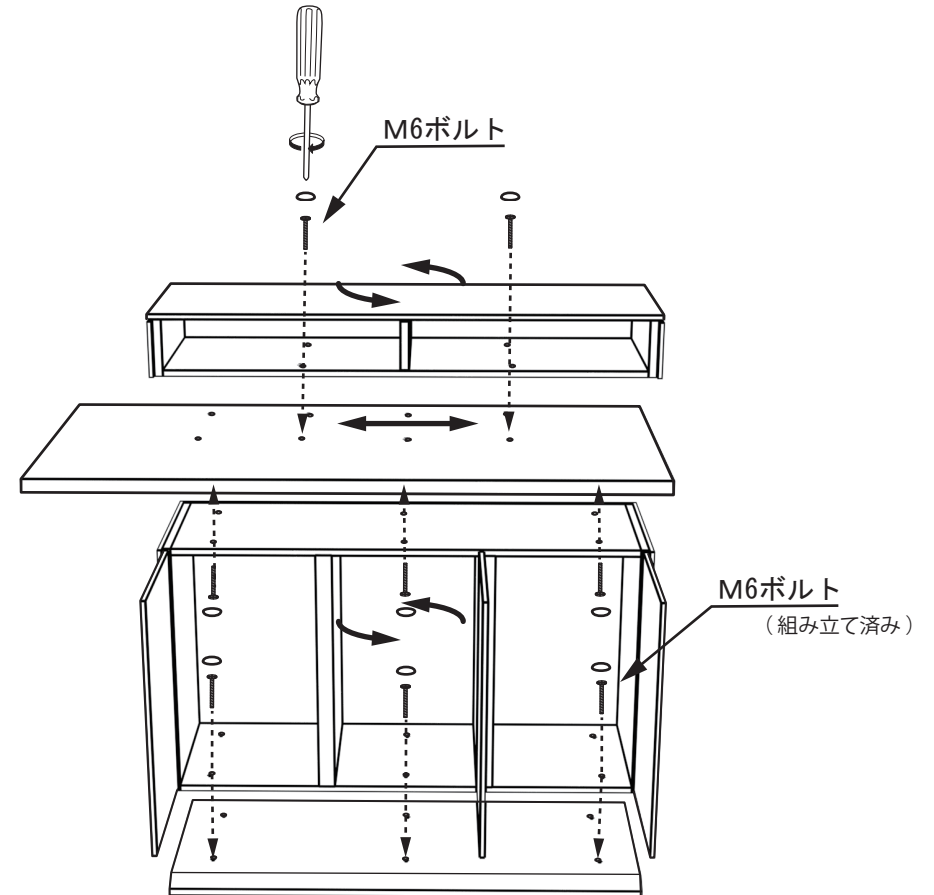
- 時々ボルトのゆるみによるガタツキがないか点検し、ゆるみのある場合は閉め直してください。
- 直射日光やストーブなど熱の影響を受ける場所、湿気・乾燥の著しい場所での使用はお控えください。
- 商品の表面にセロテープやシールなど粘着性のあるものを貼付けしないでください。表面材が剥がれます。
- 商品の上に高温のものをのせないでください。変色し跡が残ります。
- 商品の上でボールペンなど先の硬いものを直接使用しないでください。表面を傷付けたり、跡が残るおそれがあります。
- お手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れのひどい場合は中性洗剤を水で薄めたものを使い布をよくしぼってから拭き取ってください。最後に乾拭きしてください。

①



### 組み立て手順

- ① まず収納ボックスの向きとカウンターの向きを決めましょう。  
(※注意：収納ボックスの台輪の向きは必ずカウンター方向に合わせてください。  
詳しい内容は下記の図を参考にご覧ください。)
- ② 収納ボックスの上にカウンター天板をセットして、台輪の方向が合っているか確認し収納ボックスの中からM6ボルトで止めます。
- ③ 上台を取り付ける前に、まず中の引出しを取り出して下さい。お好みの方向にセットしたら、中からM6ボルトで止めます。
- ④ すべてのボルトを締めたら、セットキャップを取り付けてください。

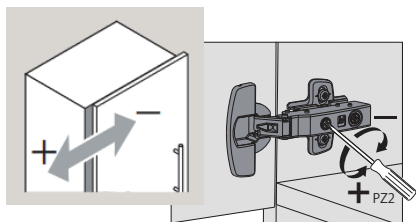


# 取扱説明書

安全の為に必ずお読み下さい。

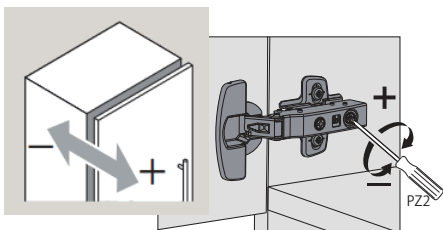
この度は、当社の商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの説明書をお読み頂き、正しくご使用下さい。また大切に保管し必要な時にお読み下さい。

## 扉の調整方法



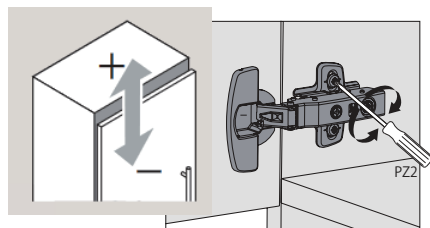
### カブセ代調整

扉を閉じた状態で正面から見た際の、扉の左右の調整です。



### 前後調整


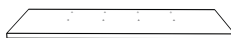
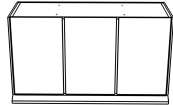
扉を閉じた状態で正面から見た際の、扉の前後の調整です。




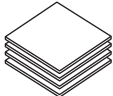


### 高さ調整

全ての座金の取付けビスを緩め、扉を上下に調整した後に緩めたビスを再度締め込みます。

## 部品照明

上台 (引出し) 	カウンター天板 	収納ボックス (組み立て済み: M6ボルト×6使用) 
---	--	--

棚受けダボ  12個	M6ボルト  10本	ボルトキャップ  10個	レベル調整板  4枚
---	---	---	---

## 棚板の設置

